

湯野見て歩き



宿泊施設のご紹介

市街局番 (0834)

紫水園	(83) 2345
寿仙荘	(83) 2280
芳山園	(83) 2255
国民宿舎湯野荘	(83) 2151
若武旅館	(83) 2154
民宿慶庵	(83) 3734
元湯小松	(83) 3400

夜市川で魚釣りをする
坊っちゃん像

初夏にはホテルがです。

● 領主堅田家の墓所

● 性梅院

● 招魂社

● 神田神社

● 常照院

● スモモ園

● 湯野道祖神

● 湯野温泉薬師

27

周南リハビリテーション病院

陽晏淵
陽晏の碑

芳山園

湯野郵便局

駐在所

湯野温泉病院

市役所湯野支所
公民館

坊っちゃん像

やしがわ
夜市川

第一交通タクシー

天狗の碑

やすらぎ苑

鼓の滝

国民宿舎湯野荘

民俗慶庵

福田石油

乗実橋

サンサンロード

湯野温泉バス停

湯野郵便局

湯野温泉病院

市役所湯野支所
公民館

坊っちゃん像

やしがわ
夜市川

第一交通タクシー

天狗の碑

やすらぎ苑

鼓の滝

国民宿舎湯野荘

民俗慶庵

福田石油

乗実橋

サンサンロード

湯野温泉バス停

湯野郵便局

湯野温泉病院

市役所湯野支所
公民館

坊っちゃん像

やしがわ
夜市川

第一交通タクシー

天狗の碑

やすらぎ苑

鼓の滝

国民宿舎湯野荘

民俗慶庵

福田石油

乗実橋

サンサンロード

湯野温泉バス停

湯野郵便局

湯野温泉病院

市役所湯野支所
公民館

坊っちゃん像

やしがわ
夜市川

第一交通タクシー

天狗の碑

やすらぎ苑

鼓の滝

国民宿舎湯野荘

民俗慶庵

福田石油

乗実橋

サンサンロード

湯野温泉バス停

湯野郵便局

湯野温泉病院

市役所湯野支所
公民館

坊っちゃん像

やしがわ
夜市川

第一交通タクシー

天狗の碑

やすらぎ苑

鼓の滝

国民宿舎湯野荘

民俗慶庵

福田石油

乗実橋

サンサンロード

湯野温泉バス停

湯野郵便局

湯野温泉病院

市役所湯野支所
公民館

坊っちゃん像

やしがわ
夜市川

第一交通タクシー

天狗の碑

やすらぎ苑

鼓の滝

国民宿舎湯野荘

民俗慶庵

福田石油

乗実橋

サンサンロード

湯野温泉バス停

湯野郵便局

湯野温泉病院

市役所湯野支所
公民館

坊っちゃん像

やしがわ
夜市川

第一交通タクシー

天狗の碑

やすらぎ苑

鼓の滝

国民宿舎湯野荘

民俗慶庵

福田石油

乗実橋

サンサンロード

湯野温泉バス停

湯野郵便局

湯野温泉病院

市役所湯野支所
公民館

坊っちゃん像

やしがわ
夜市川

第一交通タクシー

天狗の碑

やすらぎ苑

鼓の滝

国民宿舎湯野荘

民俗慶庵

福田石油

乗実橋

サンサンロード

湯野温泉バス停

湯野郵便局

湯野温泉病院

市役所湯野支所
公民館

坊っちゃん像

やしがわ
夜市川

第一交通タクシー

天狗の碑

やすらぎ苑

鼓の滝

国民宿舎湯野荘

民俗慶庵

福田石油

乗実橋

サンサンロード

湯野温泉バス停

湯野郵便局

湯野温泉病院

市役所湯野支所
公民館

坊っちゃん像

やしがわ
夜市川

第一交通タクシー

天狗の碑

やすらぎ苑

鼓の滝

国民宿舎湯野荘

民俗慶庵

福田石油

乗実橋

サンサンロード

湯野温泉バス停

湯野郵便局

湯野温泉病院

市役所湯野支所
公民館

坊っちゃん像

やしがわ
夜市川

第一交通タクシー

天狗の碑

やすらぎ苑

鼓の滝

国民宿舎湯野荘

民俗慶庵

福田石油

乗実橋

サンサンロード

湯野温泉バス停

湯野郵便局

湯野温泉病院

市役所湯野支所
公民館

坊っちゃん像

やしがわ
夜市川

第一交通タクシー

天狗の碑

やすらぎ苑

鼓の滝

国民宿舎湯野荘

民俗慶庵

福田石油

乗実橋

サンサンロード

湯野温泉バス停

湯野郵便局

湯野温泉病院

市役所湯野支所
公民館

坊っちゃん像

やしがわ
夜市川

第一交通タクシー

天狗の碑

やすらぎ苑

鼓の滝

国民宿舎湯野荘

民俗慶庵

福田石油

乗実橋

サンサンロード

湯野温泉バス停

湯野郵便局

湯野温泉病院

市役所湯野支所
公民館

坊っちゃん像

やしがわ
夜市川

第一交通タクシー

天狗の碑

やすらぎ苑

鼓の滝

国民宿舎湯野荘

民俗慶庵

福田石油

乗実橋

サンサンロード

湯野温泉バス停

湯野郵便局

湯野温泉病院

市役所湯野支所
公民館

坊っちゃん像

やしがわ
夜市川

第一交通タクシー

天狗の碑

やすらぎ苑

鼓の滝

国民宿舎湯野荘

民俗慶庵

福田石油

乗実橋

サンサンロード

湯野温泉バス停

湯野郵便局

湯野温泉病院

市役所湯野支所
公民館

坊っちゃん像

やしがわ
夜市川

第一交通タクシー

天狗の碑

やすらぎ苑

鼓の滝

国民宿舎湯野荘

民俗慶庵

福田石油

乗実橋

サンサンロード

湯野温泉バス停

湯野郵便局

湯野温泉病院

市役所湯野支所
公民館

坊っちゃん像

やしがわ
夜市川

第一交通タクシー

天狗の碑

やすらぎ苑

鼓の滝

国民宿舎湯野荘

民俗慶庵

福田石油

乗実橋

サンサンロード

湯野温泉バス停

湯野郵便局

湯野温泉病院

市役所湯野支所
公民館

坊っちゃん像

やしがわ
夜市川

第一交通タクシー

天狗の碑

やすらぎ苑

鼓の滝

国民宿舎湯野荘

民俗慶庵

福田石油

乗実橋

サンサンロード

①湯野道祖神

道祖神は昔は集落の入口に建立され、疫病や災難を防ぎ、旅人を守り、道案内ともなったものであるが、こうした意味を含め地域のコミュニティのシンボルとして家庭円満、男女和合、平和と地域発展の祈願をこめて、石彫家鈴木政夫先生の作による道祖神を建立したものである。

②陽晏淵と乗実橋

湯野の領主堅田の家臣津田某に陽晏という美しい娘があつたが、奥入れが間近に迫っていたのに、この家の食客大五郎乗実という若侍と恋仲になった。父親は大いに怒り、乗実を追出すと共に日ごと泣き暮らす陽晏を近くの向山の麓の庵に監禁した。そのうち陽晏は気が狂い、一方、旅に出た乗実も寂しさに堪えかね、里に帰ってみるとこの始末。それからの乗実は夜ごと人目を避けては橋を渡り、庵を訪れ看病した。

その甲斐あつてか、陽晏の病気は平癒したものの、所詮は添えぬ定めとあれば、またの悲しみを見るよりもと、二人は堅く抱き合つて淵に身を投じてしまった。それ以来、その淵を陽晏淵、橋を乗実橋と呼んで、今に伝えている。

乗実橋のためには日本石刻界の第一人者名古屋の故鈴木政夫先生の「愛の道像」が置かれ、この道の散策にこのころのやすらぎをあたえてくれます。

③仏光山 性梅院（浄土宗）

この寺は慶長八年（一六〇三）西林山西蓮寺として建立されたが、この後領主の堅田就政安房守が寛文七年に妻の院号をとつて改め菩提寺とした。浄土宗総本山知恩院直参、本尊は阿彌陀如来で観音・勢至両菩薩を脇侍とする三尊像のほかには本宗和漢の祖師二軀が左右に安置してある。

④堅田家墓所

寛永二年（一六二五）堅田就政が湯野・戸田筋地・日置（大津郡）の領主になつて以来の代々の墓地。

堅田氏の本氏は粟屋氏で、粟屋備前守元通の次男弥十郎元慶を始祖とする。元慶は小早川隆景の猶子となり小早川を名乗るよういわれたが、これを固辞して受けず、改めて堅田の苗字を賜わつた。

元慶は安芸国高田郡内に七四三八石余の知行を得ていたが、毛利氏が萩に移つてからは六五三六石余を給され、寄組筆頭として永代家老益田、福原両氏に次ぐ家柄となつた。

しかし、元慶の嫡子就政は幼少のため二〇〇〇石を減ぜられ、寛永二年には所領四五〇〇石のうち一四六七石余を、郡濃郡湯野村内に給された。ここに存する墓石は初代元慶以下堅田氏歴代のもので、萩藩重臣にふさわしい立派な形式と規模を誇っている。

⑤招魂社

慶応二・三年の四境の役及び明治維新の戦いで戦死した一四柱の霊が祀られている（慶応四年堅田領主が建立）。二〇八の石段があり、紅葉の名所となっている。

⑥円悟山 常照院（曹洞宗）

明治二〇年、円悟山学音寺と寛文七年（一六六七）に領主堅田家菩提寺として建立された千林山常照院の二ヶ禅寺を合併して新しく建立された。本尊は釈迦如来で普賢・文殊両菩薩を脇侍とする三尊像が安置してあり、境内には観世音菩薩の三三種の変化身である三三所観音が安置してある。

又、平成八年夏日漱石小説「坊ちゃん」のモデル弘中又一記念公園が多くの人々の寄付により作られた。弘中家の菩提寺であり歴代の墓がある。

⑦神田神社

明治三十九年、六社を合祀して建立されたもので、河内神社祭神・八幡宮祭神・罪門神社祭神が鎮座している。

鳥居は奈良時代の末頃出来たという明神鳥居の形である。狛犬は元来獅子でお宮の守護と装飾を兼ねたもので両方で阿吽の形となっている。

⑧スモモ・シンボル園

湯野は昭和五十二年徳山市で最初のコミュニティ推進モデル地区に指定されスモモの里づくりを進めており、特産品としてスモモワインとジャムを生産している。

このシンボル園は昭和六十二年に整備したもので、面積約三千平方メートルに百五十本植栽してある。

⑨湯野温泉薬師

大正年間の戦国の頃、河村三五兵衛という人が朝晩湯気が立ちのぼり、冬には雪解けの早い所があるのを見つけて不思議に思い、岩をうがって掘り進んでいた或る夜、夢に薬師如来が現れて「この上の底に埋もれている仏を掘り出してお祀りさせよ、温泉が湧き出て繁盛するであろう」とのお告げを受け、なお掘り続けるうちに、燦然と輝く薬師如来像が温泉と共に現れた。

それを祀つたもので、霊験あらたかなる薬師として温泉の効用を高め、毎年四月薬師祭りを盛大に営んでいる。

佐古板碑（市文化財）

応永十二年（一四〇五）造立薬師・阿彌陀・釈迦・梵字であらわしてある。当時信仰の対象として最初のもの、誰が造立したか又、其の目的も信仰によつてもたらずもの等不明である。

湯野観音岳八十八カ所霊場

文久二年（一八六二）

勸請 東林寺 心戒禅律師

楞嚴寺 貫之大和尚

黄金菩薩座像

嘉永六年（一八五三）松田好松によつて不動山山頂の土中より発見された黄金の菩薩座像御丈一寸八分尊像楞嚴寺・五世貫之大和尚時代は領主堅田八代就正公これはふもとの楞嚴寺にて供養したらとの事で御開帳には盛大な供養があつたが現在は毎月七日に拝観できる。

山田家本屋（県文化財）

建物は茅葺で建坪二六三・七六平方メートル（八二坪）一五室という大きな平屋建て書院造りの中間にあたる部屋が母屋から庭に突出して建てられ霊舎の間・局の間・奥の間・仲間部屋・化粧部屋などがあり台所回りのムシロ天井や中二階の隠し部屋・座敷の刀隠し・外部から開かれぬ回転式雨戸等室町時代の武家屋敷の趣きと民家風の素朴な構えをもつた屋敷である。

なお戸田より現地に移築復元したものは旧屋敷の約六〇パーセントにあたる一六三・四六平方メートル（四九坪）である。

山田家本屋は慶長の頃（一六〇〇年前後）小早川隆景の家臣で後に湯野の堅田元慶の家臣となつた。山田氏の住宅で萩藩の侍講、堅田家の重臣、榎原神宮宮司そして学者・歌人等多彩な人物を輩出させた家柄である。毛利英雲公（七代藩主）をはじめ、鈴木重風・村田清風・梅田雲浜・中山屋女・頼山陽等が立寄つたとも伝えられている。

建築年代は未詳であるが、家名再興の寛文・元禄（一六六一〜一七〇四）ころと推定され藩政時代には防備の政策上、街道の要所に物見の役を配置したものであるが、山田家もそういう目的も秘められて山陽街道の要衝に建てられたものと考えられる。

城山（樽山城）

古城跡（四五二・六メートル）

頂上は三方が開け眺望が素晴らしく瀬戸内海はもちろん九州が望遠出来る中国山脈の山々も見え景観がよい。

この登山道八合目には役行者の磨崖仏等山岳信仰の遺跡又頂上には権現社が祀られている。

樽山城の城主は上山右衛門佐勝俊である。（樽原河内社勸請文書による）